



千代田グループは、創立59年を迎える伝統ある東京南ロータリー・クラブを始め7RCで構成されており大変まとまりのあるグループであります。

3月4日の第一回グループ協議会で、RI及び、地区の方針の説明を行い、積極的に活動をしていただくことをお願いいたしました。

前年度 星野ガバナー補佐のもと青少年交換の受入について、討議され、グループ全体でホストクラブを支援するという、当千代田グループ独自の体制を整えていただいたことは、青少年交換制度に大いに意味のある事で、今後も、継続するべきものと考えております。

地区としても、そして千代田グループとしても大きな課題は、会員の減少にあります。会員増強を図ることはもちろんのことですが、現状は、経済環境等を考えると決して楽観出来るものではありません。現状の会員数でもいかに効果的なクラブ運営を行なうかを考える必要があります。

当年度は、当グループよりガバナーが選出されており、全面的にガバナーを支援する体制を整えてまいりたいと思います。また、各クラブが十分な活動が出来るよう、あらゆる面で協力をしてまいりたいと思います。

一年間どうぞよろしくお願いいたします。



今年度のRIテーマとして「ロータリーの未来はあなたの手の中に」が掲げられています。これを受けて、久邇ガバナー年度では、将来の針路を決めるのはロータリアン自身の日頃の行動と決断であり、ロータリーの未来は我々の双肩にかかっていることを自覚して…、この一年を努力してまいりたいと思います。

当グループは、半世紀を超える歴史と伝統ある東京銀座RC、東京日本橋RCの両クラブをはじめ個性的な9クラブが、クラブ運営と奉仕活動にあたり、独自性を発揮し自主的に活動計画をたてておられます。各クラブは内外共厳しい情勢下において奉仕活動の質的な改善にむけて、あらゆる叡知を結集するとともに、複数のクラブによる共同プロジェクトを一層充実させてゆくことを考えております。

又、今年度はあらゆる活動の実施にあたり従来の計画のなかに、広報活動の要素をとり入れ、ロータリアンとして内外共に広報マインドを高め、その成果をあげることを期待しております。このことは会員増強、会員維持の問題にも、広報は良い結果をもたらすことと確信いたしております。当然のことながら会員維持については、会員増強と共に更に十分な配慮が必要であると考えております。ロータリーにおいては、すべてがクラブに始まりクラブに終わるという前提をふまえ、各クラブにおかれては更に指導力を強化され、私共の立場では、クラブの多様性を認め、継続性を理解したうえでクラブ支援に徹し、良きサポート役を努めてまいりたいと願っております。

